

講義名称	乳児保育 I	担当教員名	樋口 和子
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 (PM) 選択	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMPM1126

授業のキーワード	乳児保育の意義・目的、乳児の発達、職員・保護者との連携
授業の概要	乳児保育の基礎を学び、乳児の発達や環境を理解し、特定の大人が子どもとていねいに関わることの大切さを理解する。また、保護者と共感することの大切さについても考えながら保育することを目的とします。
期待される学習成果 (目標)	乳児保育全般や、乳児保育で大切な子どもの発達や、特に配慮しなければならない事項等の理解が深まります。また、職員や保護者・地域の関係機関との連携の方法を習得できます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷	乳児保育の意義と目的、乳児保育の役割、養護と教育の理解
2	子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況	保育をめぐる近年の新制度と法改正、乳児保育への関心と高まり、保育所の子育て支援
3	保育所における乳児保育	保育所の位置づけや役割、保育所における乳児保育の現状
4	児童福祉施設における乳児保育	児童福祉施設について、乳児院について
5	家庭的保育・小規模保育等の乳児保育	家庭的保育・小規模保育とは
6	3歳未満児と家庭を取り巻く支援の場	子育て支援の現状、子育て支援施設や保育所などの実践
7	3歳未満児の生活と環境	乳児保育における生活の場としての環境の整え方
8	3歳未満児の遊びと環境	環境を通して行う保育、0歳児の遊び環境の整え方
9	3歳以上児に移行する時期の保育	乳児保育の前提を確認する、0・1・2歳児からの移行の検討
10	3歳未満児の発育・発達をふまえた援助	保育所保育指針改定に見る保育の特性と援助の実際、3歳未満児の保育の原則
11	3歳未満児の発育・発達をふまえた配慮	保育全般にかかわる配慮事項、3歳未満児に共通する配慮事項
12	乳児保育の計画・記録・評価とその意義	保育の計画と実践、実践の記録から評価へ
13	職員間の連携・協働	乳児保育における保育者の業務と役割、チームで進める保育
14	保護者との連携・協働	子育て支援の必要性と保育者の役割、「保育の専門性」を活かした保護者支援
15	自治体や地域の関係機関との連携・協働	保育所と地域の社会資源、地域子育て支援との関係

定期試験	レポート
授業時間外学習	予習・復習を合わせて毎回100分程度行い理解を深める。また、日常の子どものニュースに関心を持ち、自分なりの意見をまとめる。
評価方法	レポート試験60%、授業内での提出物（リアクションペーパー等）及び授業貢献度40%
使用する教科書（必ず購入してください）	新基本保育シリーズ 乳児保育 I・II 中央法規
参考文献	授業内で紹介します。